世界のあしたが見えるまち。TSUKUBA

つくば市記者会 御中

発信日：令和８年（2026年）11月16日（月）
発信元：つくば市　教育局　健康教育課

□取材依頼　□周知依頼　□募集告知　■その他

健康観察・医療相談アプリ「LEBER（リーバー）」におけるメール配信サービスへの不正アクセスについて

つくば市が導入している健康観察・医療相談アプリ「LEBER※」において、本システムの提供事業者である株式会社リーバーから、システムで利用していた外部メール配信サービス（運営：アララ株式会社）が第三者からの不正アクセスを受けたことにより、一部利用者のメールアドレスが漏えいしたとの報告を11月13日に受けました。

【発生日】　令和８年10月28日（水）

【漏洩した情報】

「LEBER」利用者のメールアドレス　16,570件

※メールアドレス以外の情報（氏名、電話番号、ログインID、パスワード等）やメール本文等の情報は漏えいしていません。

【対応状況】

市ホームページで情報漏えいについて周知するとともに、システムの提供事業者である株式会社リーバーに、今後の対応方針やデータの取り扱いについて確認を行い、厳正かつ適正な管理を徹底するよう申し入れました。また、健康観察で利用している児童生徒の保護者には、別途お詫び文を通知しました。

※「LEBER」とは

つくば市では、保護者や児童生徒がアプリを利用して出欠連絡や健康状態といった健康観察記録を入力し、その情報を学校がリアルタイムで確認できるシステム「LEBER」を導入しています。出欠管理の効率化による教職員の負担軽減に加え、保護者への情報配信機能も備えており、学校と家庭をつなぐ連絡ツールとして、令和２年６月から運用しています。令和６年12月からは「つくば市休日夜間デジタル急患センター」として医療相談やオンライン診療を「LEBER」で行っています。